

平成 30 年度社会福祉法人すみれ福社会事業報告書

はじめに

一人ひとりを大切に子ども達の健やかな成長や発達を目指し地域に信頼され福祉の向上と子育て世帯の支えやニーズに応えていくため、改定された新保育指針の園内研修を重ね、またキャリアパスの研修に参加し、学んだことを全職員と共有し、保育の質の向上、保育士の資質向上に取り組みました。

今年度から新たに 2 歳以上のクラスに体育の専門講師の指導を月 2 回導入しこれまでのラジオ体操、ロコモ体操に加え体力作りに取り組みました。また、5 歳児クラスは習字の講師の指導の下、文字指導、習字の指導を月 4 回行いました。今年 2 月には、4・5 歳児が沖縄市の島くとうば発表会の方言劇への参加をきっかけにうちな一口も学ぶ機会があり、子ども達や職員も挨拶、物の名前など、うちな一口を意識して使い継承していきたいと思います。

リトミック、食育、地域交流、花いっぱい運動、クリーン活動等、今後も継続していきます。また、園舎新築に伴い地域の待機児童解消に向けた取り組みや 5 歳児保育をより充実させるよう努め、より良い事業運営ができるよう全職員共通理解のもとサービスの向上、職員が働きやすい職場作りをしていきたいと思っています。

保育理念

子ども一人一人を大切に保護者や地域に信頼され笑顔で元気になれる保育園

保育方針

一人一人を大切に年齢、発達に沿った豊かな経験とあそびを通して生きる力を育み心豊かな子どもを家庭と地域社会と連携を図り保護者とともに育てる。

保育目標

健康で明るい子 感性豊かで思いやりのある子
考えて行動する意欲のある子